

令和7年度 第1回 近江八幡市人権擁護審議会 議事録

日時 令和7年7月8日（火）15:00～16:00

場所 市役所南別館3階 水道C会議室

1. 開 会

2. あいさつ

内田会長

3. 協議事項

近江八幡市人権に関する市民意識調査について 資料1～資料3

- ・事務局より資料に基づき説明

（質疑応答）

委 員：調査票の問33について、選択肢7の『はっきりおぼえていない』は、「人権学習を受けたことがあるかどうか覚えていない」のか、「受けた時期などを覚えていない」のどちらを指しているかわかりにくい。

事務局：「受けたことはあるが、時期などは覚えていない」の意味である。文言を修正する。

会 長：問17の部落差別について知った時期で、「以下」はつけなくてもいいのではないか。

また、選択肢7と8を入れ替え、7を「覚えていない」、8を「同和問題を知らない」とし、8を選んだ場合は問25まで進むよう記載が必要ではないか。

事務局：選択肢2を「6歳～12歳」、3を「12歳～15歳」とする。4は「15歳～18歳以下」、5は「19歳～22歳以下」、6は「23歳以上」とし、7、8はご意見通りに修正する。

委 員：問18について、昨今はインターネットで知る人もいるため、その選択肢も入れたほうがいいのではないか。

事務局：「インターネット・SNSなどで」を追加する。

会 長：レイアウトについて、ページをめくったときに前のページの選択肢を見返さないといけないのは回答者にとって負担である。その他欄を狭くしてもいいので、ページをまたがないようにできないか。見開きとなるページ（左が奇数で右が偶数）の場合は両方見られるからよいが。

事務局：ページ数の加減があるので、どこまでできるかわからないが試してみる。

委 員：外国人住民に対して翻訳アプリの使用等と呼びかける文書の中に、中国語も入れたほうがいいのではないか。

事務局：国際協会に翻訳を依頼した際、中国の方は漢字である程度意味をとれると聞いており、今回載せていない。

委 員：市民に占める外国人住民の割合はどのくらい？一番多い国はどこ？

事務局：外国人住民の割合は約2.8%。今はベトナムが一番多い。

会 長：スペースが余っているなら載せてもいいのでは。

事務局：検討する。

人権擁護に関する施策の基本計画策定スケジュール（案） 資料4

・事務局より資料に基づき説明

会 長：それでは、第1回の審議会での協議事項は全て終了とする。

事務局：会長ありがとうございました。また、各委員の皆さまにも多くのご意見をいただきありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。